

会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称 令和2年度第1回美里町生活支援体制整備協議会
- 2 開催日時 令和2年7月28日（火）午前10時から午前11時55分まで
- 3 開催場所 駅東地域交流センター 大会議室
- 4 会議に出席した者
 - （1）委員 小野俊次委員、角田フミコ委員、白石淳弥委員、伊藤秀司委員
渡邊かおり委員、佐々木義夫委員、小野祐哉委員、松田正敏委員
菅原亨委員
 - （2）事務局 高橋ひろみ、横山太一、小林公美、菅井晶、伊藤博人
永沼威雄、高橋ゆかり、青木真理
- 5 議題及び会議の公開・非公開の別
 - 1 開 会
 - 2 会長及び副会長の選任について
 - 3 会議録署名委員の選出
 - 4 報 告
 - （1）生活支援体制整備事業の概要と協議経過について
 - （2）市町村伴走型支援モデル事業について
 - （3）生活支援コーディネーターの活動について
 - 5 協議事項
 - （1）今年度の事業計画（案）について
 - 6 その他

会議の公開・非公開の別
公開

6 非公開の理由

7 傍聴人の人数
0人

8 会議の概要

- ・会長及び副会長の選任について

会長：小野俊次委員

副会長：渡邊かおり委員

- ・会議録署名委員の選出

小野祐哉委員、菅原亨委員

(1) 報告事項の内容及び議題の審議結果等

報告事項

- (1) 生活支援体制整備事業の概要と協議経過について
- (2) 市町村伴走型支援モデル事業について
- (3) 生活支援コーディネーターの活動について

※報告事項について質問等なし

(2) 協議事項における詳細な意見

(1) 今年度の事業計画（案）について

事務局の高橋より資料説明

新型コロナウイルス感染症の影響により今年度中止とする事業

- ・委員視察研修
- ・高齢者生活支援体験事業
- ・ラジオ体操講習会

手法を変更して実施を検討

- ・くらしのサポーター養成講座
フォローアップ特化して実施

- ・お宝発表会

別の啓発の機会を検討

<p>・福祉力UP情報交換会 生活支援コーディネーターが地域に伺って情報収集及び情報交換</p>	
小野会長	<p>今年は特に様々な事業が中止となっている。この事業も無理はしなくともよい。あせってやることはない。</p>
高橋	<p>今年度は計画通りに進まないことを前提に進めていく考えでいる。状況を見ながらできる範囲で進めていきたい。</p>
<p>※コロナ禍の影響の中で委員の普段行っている活動にどのような影響が出ているか話題提供していただいた。</p>	
角田	<p>民生委員児童委員については各活動や事業が中止や形式を変えて実施している。個人的には発症者が少ない東北や宮城でもすべて中止になったり、こんなに委縮してしまうと逆に恐怖感を助長してしまうと感じている。</p> <p>美里町では現在感染者は収まっている状況なので意識を高くして活動してもよいのかなと思う。</p>
伊藤	<p>シルバー人材センターは60歳以上の高齢者の方々の団体ですが、全国的に感染者を調べてみると、たった1人にしか感染していない。働くという意識の中に人一倍感染に注意するという意識が高いからこそだと思う。東京都内でもシルバー会員の中から感染者は出ていない。</p> <p>現実、センターには国から対策対応について通知が来ておりますけど本町のシルバー人材センターでは会員に対しては注意喚起の周知をしております。</p>
高橋（ゆ）	<p>一人暮らし高齢者からの依頼はどのような内容となっておりますか。</p>
伊藤	<p>生活に関するもの、例えば電源コードが壊れたとか、床の汚れ、流しの修理とか、そういった生活に関わる依頼が多いです。</p>
角田	<p>民生委員は訪問自体を自粛しろと通達が来ている。安否確認等は電話で行えと言われてしている。対象となる高齢者は持病を持っている方が多いことから民生委員が感染源にならないようにするためです。</p> <p>高齢者だと耳が遠いことから電話をかけても会話できない。特に注意しないといけない対象者は訪問して状況を確認したり声がけしたりするが、基本は訪問ではなく電話や夜間の明かりや新聞受けの状況から生活状況を確認したり、隣近所の方に見守りをお願いしている。</p> <p>シルバー人材センターや介護事業所が関わっていただけると私たちも安心できる。</p>
小野会長	<p>新型コロナウイルス感染症への対応や危機感は人によってもそれぞれ違い、対応方法も様々である。</p>

	<p>町のマラソンや敬老式などの主だった事業も中止となり、地域でも祭りなどして誰かが感染してしまったら誰が責任を取るのか？主催者側として不安である。だから今はカラオケ教室もできない、グラウンドゴルフは屋外ということもあり実施している。地域の皆さんの集まりたい気持ちをどのように解消していけばよいのかわからない。</p>
高橋（ゆ）	<p>コミュニティセンターなどはどのような状況ですか。</p>
菅原	<p>6月に一部サークル活動のセンター利用などは解放しております。解放できないサークルもあるわけです。コーラスや楽器を使用するサークルは解放しておりませんでした。7月からは使用させております。利用者のほとんどが65歳以上の高齢者でありコーラスのサークルなどはフェイスガードなどの対策をしながら利用しています。</p> <p>ただ、コロナの関係で不安からサークルを辞めた方も少なくありません。本人も不安だし家族から言われて辞めたというのも聞いております。意外と若い人たちが危機感が希薄です。</p>
永沼	<p>社会福祉協議会も指定管理者で、利用者の意識の差というのは感じております。</p> <p>社会福祉協議会として町から委託を受けている配食サービスが、これまで地域の方々に協力をいただいて、自分のお住いの地区の利用者に食事を週2回届けていただいていたのを、専属の職員1人が利用者をつまわっておりますが、4月頃から利用者が増えております。コロナ禍で出かける回数が減ったことが利用者増の要因かもしれない。</p>
渡辺	<p>J Aのデイサービスや訪問介護でも4月以降利用を遠慮する利用者さんがおりました。現在は回復しております。</p> <p>8月からは4月からスタートする予定で見合わせていた介護予防講座を再開する予定で40人の申し込みがありました。少人数ずつで新しい生活様式に合わせた方式で事業を実施していく予定です。</p>
小野	<p>サービス利用者の体調はチェックリストで管理している。業者等の荷物の搬入に関しても検温を実施した。</p> <p>面会もチェックリストを設定して事前の訪問の連絡と面会時間を制限し、1家族3人以内30分以内としている。</p> <p>今年度実施する各種事業は基本的に家族の参加は見送り、入居者及び利用者だけで実施予定である。</p> <p>法人全体で行っていた行事も各事業所単位で行うこととした。</p>
佐々木	<p>デイサービス利用者は皆さん休まずに参加していた。</p> <p>家族からの感染を恐れ、1か月預かりサービスを利用した方もいた。</p> <p>外部からのウイルス持ち込みのリスクが高いことからスタッフが感</p>

	<p>染しないように気を付けた。マスクは多少高くともスタッフ分も購入して渡した。</p> <p>デイルームには外部の人を入れないようにした。</p>
菅原	<p>外部から来た人は検温を徹底し、チェックリストを作成している。とにかく検温等徹底させるしかない。</p>
松田	<p>団体では健康・友愛・奉仕を3大目標に掲げ活動を行っている。</p> <p>毎週日曜の朝8時30分から10時30分まで会員がグランドゴルフをしている。屋外ということもあり現在はコロナの影響はあまり見られない。会員118人のうち20人程度が参加しており安否確認の代わりにもなっている。参加した会員には必ずボックスティッシュを配るようにはしており、皆、楽しみにしているようだ。</p>
白石	<p>商工会では主に持続化給付金に関するサポート、特にスマートフォンを活用した申請などの補助をすることが多い。</p> <p>また大崎市の申請サポートセンターの紹介なども行っている。</p>
渡辺	<p>今後、いかにフレイルを予防するかが重要となる。</p>
高橋	<p>月に1回程度開催する行事は多いが、週に1度集まれる場はまだまだ少ない。今年度は課題として介護予防の観点なども交えながら色々と考えていきたい。</p>
	<p>終了 11:55</p>

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和2年9月17日

委員 _____

委員 _____